



にこにこだより



令和2年（2020年）12月11日（金）

横須賀市立ろう学校 幼稚部

★おみせやさんごっこ★



第17号

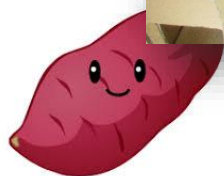
幼稚部の一大イベントである「おみせやさんごっこ」が12月2日（水）に行われました。およそ一ヶ月の取組でしたが、飽きることなく、楽しみながら終わることができました。

今年のおみせやさんごっこは、子どもたちが日常の遊びと結びつけながら発展させていったことが大きな成果です。

ある11月の昼休み、先生がたんぼぼ教室で何気なく段ボールの大きな家を作りました。すると、子どもたちは中に入ったり出たり大喜び。さらに空き箱をエアコンやテレビに見立てて飾ったり、倉庫から段ボールで作った冷蔵庫を運び込んだりして遊びだしました。家に入出入りする時は「ピンポン」と言いながらチャイムを鳴らします。中でおうちごっこをして楽しんでいる子もいますが、エアコンの修理屋さんになりきっている子どもも出てきました。すると電話で修理依頼がきて、出張に行くことに。修理といってもエアコンをガンガン叩くやり方なので、先生たちから、そんなことしたら余計壊れちゃうよなんて声をかけられますが、本人はニコニコ満足顔なのです。

家が完成してくると、今度はあさがお組のお兄さんが、やおやさんに野菜や果物を買っていくことになりました。おうちではカレーを食べたいという話になったからです。「いらっしゃいませ！」「ジャガイモを2つください。」と、自然な感じでお店屋さんとお客さんのやりとりが交わされます。買い物を終えたお兄さん、家に帰って「ただいまー」と言うと、中から「おかえりー」と声が返ってきます。

今度はやおやさんで買った野菜を使ってお料理をしたり、家の電話を使ってピザを注文したりと、本当に家で生活しているかのようにおままごとを楽しんでいました。



さて、12月2日（水）はいよいよ「おみせやさんごっこ」本番です。たくさんのお兄さん、お姉さん、先生がお客さんとして来てくれました。コロナ対策のため、入室者の人数を制限したのですが、それでも10分間で4組のお客さんの対応はとても大変でした。また、子どもたちは緊張した様子で、教室で遊んでいた時のような声はなかなか出ず、表情も硬くなってしまいました。しかし、お客さんが優しく接してくれたり、手話やジェスチャーで幼稚部の子どもたちが分かるように買い物をしてくれたので、子どもたちも次第にやりとりができるようになってきました。1時間のおみせやさんごっこはあっという間でしたが、子どもたちはヘトヘトという表情。それでも最後に感想を聞くと、少し自信になったのか「おみせやさん頑張った！」と大きな声で言うことができました。校内の先生たちからも、「みんなすごいねー。がんばったねー。」と声をかけられました。せっかく楽しい遊びのおみせやさんごっこなので、教室の段ボールの家はそのままにし、もう少しごっこ遊びを楽しみたいと思います。



自分たちで作った作ったお財布とエプロンです。誰の作品かわかりますか？

